

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年8月13日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	文学部心理社会学科現代社会学専攻
留学(渡航)した時の学年	4年生
帰国年月日	2024年8月11日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	カリフォルニア大学バークレー校(日本語名) University of California, Berkeley(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語,中国語/英語
留学期間	2024年5月～2024年8月
留学先大学で在籍した学年	4年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: ~ 2 学期: ~ 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	45600
創立年	1868

留学費用

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	日本円	備考
授業料	6840	1,026,000 円	1ドル 150 円で計算しています
宿舍費	6460	969,000 円	
食費	600	90,000 円	
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	100	15,000 円	
現地交通費	100	15,000 円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	600	90,000 円	
被服費	150	22,500 円	
医療費		円	
保険費	180	27,000 円	形態: 大学指定
渡航旅費	153	23,000 円	
ビザ申請費	200	30,000 円	
雑費	600	90,000 円	
その他	1600	240,000 円	メキシコシティ等への旅行
その他		円	
合計	17,583	2,637,000 円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地: 成田空港 目的地: サンフランシスコ国際空港 経由地: 復路 出発地: サンフランシスコ国際空港 目的地: 羽田空港 経由地:
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金: ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: ZIPAIR 料金: 70,082 円 復路 航空会社: ANA 料金: 169,910 円 ∴ 合計: 236,992 円
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: ZIPAIR と ANA の公式サイト) <input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舍等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: International House) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2 人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
過去にバークレーで留学したことのある先輩からの推薦と留学報告書から
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
I-house は雰囲気がヨーロッパの昔の家のような雰囲気があり、何日滞在していても飽きませんでした。ご飯も3食食べることができますし。文句なしの環境です。グレートホールでは常に会話が飛び交っており、そこで友人も作ることができました。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

パークレーの warn me おメールを常にチェックしたり、夜は複数人で外に出るように注意しました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮や大学では eduroam が使えますので、それに接続していました。スピードも悪くなく比較的安定していました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

デビットカードを持っていきました。お金が足りなくなったら、Bank of America の ATM からお金を引き出していました。手数料は4ドルでかなり高かったです。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

薬は絶対に日本のを持って行ったほうがいいと思います。現地のは日本より効力が強すぎると教えてもらいました。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

授業料も寮費も WISE を通じて支払いました。結構便利でした。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
10 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 6 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Field Study of Buildings & Cities	建築と都市のフィールド調査
科目設置学部・研究科	Geography
履修期間	May20-June28
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	フィールドスタディ(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 480 分が 1 回
担当教授	Seth Lunine
授業内容	バイエリアの都市をフィールドワークを通じながら、歴史や構造を読み解く
試験・課題等	2週間に1度にレポートが出ます。期末試験はないですが、その代わりに最終レポートがあります。
感想を自由記入	1週間に1度開講される授業ですが、丸一日かけて都市の様々な地区を歩くという面白い授業でした。その都市がなぜ今のような構造になっているのか、抱えている社会課題は何かを学べます。バイエリアの歴史や社会を学びたい人にはぴったりの授業だと思います。先生も学生思いで、クラスメートとも話す機会が多く、とても思い出に残っている授業です。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
English Language Studies: Broadway Musicals	英語(ブロードウェイミュージカル)
科目設置学部・研究科	College Writing Programs
履修期間	July1-August9
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が2回
担当教授	David Frasca
授業内容	ブロードウェイミュージカルの歴史とアメリカの社会や文化の歴史を学習する
試験・課題等	1週間に2本の映画を見て、先生が配布してくれたシートに沿ってその映画を批評、分析をします。期末試験では授業で学んだ内容のテストとグループを作ってプレゼンテーションをしました。
感想を自由記入	アメリカの社会や文化をブロードウェイのミュージカルから学習します。様々な年代のミュージカルを視聴するので、各年代の社会課題を学べたのは興味深かったです。先生がとても陽気な方で楽しみながら授業を受けることができました。実際にサンフランシスコのミュージカルにクラスの全員と行ったのはいい思い出です。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
American Language and Culture: The Berkeley Experience	アメリカの言語と文化: バークレーでの経験
科目設置学部・研究科	College Writing Programs
履修期間	July22-August9
単位数	1
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式&フィールドスタディ (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が2回
担当教授	Jennifer Burton
授業内容	バークレーやオークランド、サンフランシスコを知る授業
試験・課題等	課題はほとんどなかった。最初の週に自己紹介の作成とバークレーで好きな場所を投稿して、その理由を書いて提出した。期末ではサンフランシスコでグループで、行ったことのある場所を選んでその場所の歴史や背景などをプレゼンした。
感想を自由記入	先生もとても優しく非常に楽しかった授業でした。座学の授業も1-2回程度あったが、それ以上に先生を含むクラスメートと一緒にオークランド、サンフランシスコ、バークレーを探検したのはいい思い出です。クラスメートと話す機会も多くて授業を通じて友人も作ることができました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Critical issues in Global Studies	グローバル研究における重要な問題
科目設置学部・研究科	Interdisciplinary Social Science Programs
履修期間	July1-August9
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 150 分が 3 回
担当教授	Devin Leigh
授業内容	世界が抱えている様々な問題(移民、開発、技術)などを学ぶ。
試験・課題等	毎週マップクイズ、授業内で書くライティングテスト、毎週1度にエッセイの課題がある。期末試験ではライティングの試験がある。
感想を自由記入	個人的には一番興味深かった授業でした。私がゼミで学んでいる移民問題や多文化共生の問題も授業で取り扱っていて楽しく学べました。世界の地域によって現在抱えている問題は異なりますが、ディスカッションではそれらの問題に対しての学生目線の解決策を考えたり、分析をしたりしました。積極的に発言をすることもできたので、本当にとって良かったと思えた授業です。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

CFN キャリアフォーラム、iroots

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

まだ就活が終わっていませんが、9月から上海に1年間留学するので、その間にポストンキャリアフォーラムに参加しようと考えています。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	校内選考、申し込み開始
留学開始年	1月～3月	ビザ取得と航空券、授業料、寮費の支払い、予防接種
	4月～7月	留学
	8月～9月	留学
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

バークレー校を選んだ理由として、卓越した学術環境と、多様性が根付いたキャンパスです。世界的に有名な研究機関であり、そのもとで勉強をすることのできる機会はとても貴重だと思います。特に、留学を通じて得られる異文化交流の機会は、単なる学問の習得にとどまらず、自己成長やキャリア形成にも大きく貢献すると考えます。なぜならば、バークレーには世界各地から様々な学生が集めており、彼らと腹を割って話せる機会は日本にはないからです。私自身もかなりの刺激を受けました。また、バークレー校はサンフランシスコに近接しており、学業と娯楽をバランスよく楽しむことができる点も魅力の一つです。

留学生活に関しては、I-Hous での滞在が非常に有意義でした。I-House は、世界各国から集まる学生たちと共に生活する場であり、社会学を学んでいる私からすれば多文化共生の実践の場として成立していることに感動しました。異なるバックグラウンドを持つ学生たちと交流することで、異文化理解が深まり、将来的に国際的な舞台上で活躍するための貴重な経験が得られます。また、寮の Great Hall では常に誰かが話をしており、非常に開放的な雰囲気は漂っていました。

アドバイスとしては、留学前の情報収集が非常に重要だということです。現地での生活や学業について、事前にしっかりと理解しておくことで、カルチャーショックや不安を軽減することができると思います。留学を通じて得られる経験は、今後の人生において大きな財産となるため、迷っている方がいましたら勇気を持って申し込むことをお勧めします。留学費用は確かに高いですが、それ以上の経験や価値を手に入れられると思います。